

1. 企画総務室の体制

2007年度も事務スタッフ4名（企画・総務・人事・広報・経理・購買）、施設・設備管理スタッフ2名（うち1名は熊本病院からの応援）の計6名体制で望んだ。

3. 2007年度採用試験（2008年4月1日採用）

職種	試験日	受験者数	採用数	備考
看護師	2007. 8. 17	15	6	辞退 2名
	9. 25	4	0	辞退 1名
	2008. 1. 25	1	1	
	3. 11	1	0	
理学療法士	2007. 8. 24	3	1	
作業療法士	2007. 11. 30	6	1	
薬剤師	2007. 9. 26	3	1	
臨床検査技師	2008. 2. 20	5	1	
	2. 27	2	1	
計		40	12	

※受験者数は書類選考後の人数

2. 職員数推移

	2002	2003	2004	2005	2006	2007
医師	7	9	12	11	9	12
看護師・准看護師	44	54	64	61	65	67
看護助手	10	11	13	17	15	14
薬剤師	3	4	4	4	4	4
臨床検査技師	4	5	5	7	6	6
診療放射線技師	4	4	4	4	3	4
理学療法士	2	2	4	7	7	6
作業療法士	0	0	2	4	6	7
言語聴覚士	0	0	1	1	1	1
臨床工学技士	1	1	1	週2回の派遣	週2回の派遣	週2回の派遣
管理栄養士	2	2	2	2	2	3
医療ソーシャルワーカー	1	1	2	2	2	2
事務員	6	7	9	11	11	12
労務員	2	2	1	1	1	1
合計	86	102	124	132	132	139

※医師は当院所属で熊本病院への派遣医師、熊本病院からの派遣常勤医師含む
 ※委託職員除く

4. 階層別研修会

研修会名	開催日	対 象	主な内容
新入職員研修会	4月2日(月) 3日(火)	新入職員 (8名)	医療人・済生会職員としての基本的事項を身につけるための研修内容
リーダーシップ研修会	10月23日(火)	幹部除く役職者 (24名)	上司に対する期待
2年目フォローアップ研修会	10月27日(土)	2年目職員 (9名)	2年目職員としての役割 問題解決手法「働きがいある職場作りをするには」
係長・主任研修会	11月6日(火)	係長・主任 (7名)	「病床利用率向上のためにとるべき対策」
中堅管理職研修会	11月17日(土)	原則4年目職員 (16名)	リーダーとしての役割 「2年目フォローアップ研修で立てた目標を振り返って」
幹部・リーダー研修会	12月1日(土)	幹部・医師・所属長 (24名)	管理職によるメンタルヘルス～ビデオ上映～ グループ討議「患者確保対策・今後の連携の在り方」

5. 外来診療の再構築

外来診療環境の改善を図るために7月に外来診察室を1室増設し、診察室を5室とした。併せて、観察室兼処置室の個室化も行った。又、外来診療の特色を出すために、4月から禁煙外来、7月から腎不全外来を設け、より専門性の高い外来診療を提供できる体制を整備した。

結果的に外来患者数は1日平均で前年度より5.7人、単価も1,089円増加した。

6. 経費削減

空調機をボイラ蒸気（重油燃料）仕様から電気仕様に更新した為、水道使用料と重油使用量が大幅に減少し、光熱水費は減価償却含めても前年比5,200千円の削減となった。

又、委託費に関しても業務内容見直しや業者との交渉により、対前年比3,670千円の削減となり経費全体では対前年比▲14.9%の削減が出来た。

7. 地域貢献活動

3月のパールラインマラソンでは例年通り、熊本病院とみすみ病院で患者搬送車2台（うち1台はモービルCCU）、総勢20名の救護班体制にて大会に協力した。スタート1キロ地点で心肺停止状態になった男性を作業療法士2名（五十嵐・財津）が発見し、直ちにBLS（一次救命処置）を開始。救急隊との連携のうえ、モービルCCUで熊本病院に運び男性の一命を取りとめた。（4月19日熊本日日新聞に掲載）

2007年度も病院開院記念行事として三角西港周辺の地域清掃を実施した。次年度はパールラインマラソン前の日程調整にて上天草市での実施も検討したい。

9. 職員朝礼

月	全体朝礼内容	担当
4	新年度院長講話	瀬井院長
5	2006年度実績報告	木下事務長
6	緩和ケアプロジェクト／アンケート報告	長塚薬剤師
7	DPCについて	木下事務長
8	2007年度1/4期実績報告	木下事務長
9	ストレスをためないように～ありがとう&ハイタッチ～	庄野副院長
10	下期スタート訓示	瀬井院長
11	2007年度2/4期実績報告	木下事務長
12	褥瘡委員会報告	西川看護師
1	院長講話「平成20年基本方針」	瀬井院長
2	2007年度3/4期実績報告	木下事務長
3	2008年度事業計画・予算	山口室長

8. 2007年度行動計画策定

医療の原点を再確認し、実践しようという意味合いからキーワードを「For the Patient」とし、前年に受審した医療機能評価の反省を踏まえ、医療提供体制、業務内容に磨きをかけるべく以下のような概要と四つの視点からの取組みを設定し実行した。

2006年度に策定した中期経営計画骨子については、具体的計画立案には至らなかった為、次年度は将来構想委員会の立ち上げを視野に進捗させたい。

平成19年度 みすみ病院基本運営方針

Keyword「For the Patient」

〔一致団結して理念を実現させよう〕

- ① 地域の求める医療を再確認し、連携を含めた医療提供体制の整備を行う。
- ② 患者さんのニーズを的確に把握し、満足度の向上に向けて努力する。
- ③ 安全・確実な医療の提供を徹底するため、具体的な取組みを促進する。
- ④ 医療資源・業務の効率的な運営に努める。
- ⑤ 将来構想（中期計画を含めた）の具体的な実施を検討する。

行動目標

顧客の視点	内部プロセスの視点
<ul style="list-style-type: none"> ◎インフォームドコンセントの充実 ◎患者満足度向上への具体的取組み ◎地域連携のさらなる推進 ◎在宅訪問サービスへの取組み ◎接遇教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎医療スタッフ確保のための抜本的取組み ◎セーフティマネジメントのさらなる充実 ◎外来診療の改善に向けた再構築検討 ◎医療情報の電子化へ向けた対策強化 ◎業務の見直しと効率化
財務の視点	学習と成長の視点
<ul style="list-style-type: none"> ◎状況に応じた病床の円滑な運用 ◎医療資源の有効利用 ◎医療制度への柔軟な対応 ◎コスト意識の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ◎効率的な勉強会・研修会の開催 ◎職場マナー・コンプライアンス ◎（法令・規則の遵守）の再徹底 ◎スキルアップに有効な図書等の整備 ◎職員表彰制度の創設検討